



パソコン勉強会 年賀状作成

パソコン勉強会を始めてから約1年になります。何とか年賀状を作れるようになるまでにこぎつけました。これからも楽しく学習を進めて行きます。

障害者のための 海外旅行「希望の翼」

茨城新聞社・茨城新聞文化福祉事業団主催の「希望の翼」は、2年おきに実施され今回で第14回目になります。

つくば市・旧荳崎地内からも多くの方が参加、荳身協からは樋口・崎代・竹原親子・木嶋各氏、賛助会員の木村さんがボランティアとして参加されました。

日程: 11月29日～12月4日
行先: アメリカ西海岸
ハリウッド・ディズニーランド
他

希望の翼に参加して

高見原 崎代 幸子

私が「希望の翼」の情報を最初に知ったのは、共にセンターでリハビリに頑張っている広沢君からでした。それも、厳しい中、頑張って三度目の参加ということでした。その広沢君に刺激されて「私もやってみよう」と、又、息子(長男)の「今まで、苦労して頑張ってきたのだから、良い機会じゃないのか、そのぐらいの贅沢は」との進めもあり、思い立ちました。が、片や、次男からは「駄目だよ、危ないよ、心配だよ」と反対されました。が、「そんなこと言っていたら何もできないよ、安全第一に気をつけるから大丈夫ヨ」と。(本心は心配と不安だらけでしたが)、決意しました。

後で名簿をみてビックリ、何人かの知人の名前が…。その中に、やはり三回目の参加の樋口さんには、安心材料を紹介していただき、それを信じて、そのとおりになりました。ベテランのボランティアアさんにも恵まれ護られま



それと印象深かったのは日米の接待と料理の国民性の違いでした。アメリカのおおまか。(生野菜に虫(油虫等)が歩いてた。器、コップが大きい。接待 おおざっぱ 日本 繊細、器も小さくて綺麗で可愛い。接待 丁寧 特にパーティー等の会場で強く感じられました。最後に、愛和の入院中にできた、パソコン画像達人の友人の保坂さんは、毎年三、四回海外旅行の経験者でもあり、自分の写真に私を置き換えて私の「海外旅行合成写真」を、プレゼントされました。それが実現したのです。不可能が可能になったのです。

まず、一つずつ片づけていくことにしました。車椅子(皆の足を引っ張れないので…)。車椅子のレンタルの手配、説明会、携帯のレンタルの契約、買い物、荷物の点検等々、息子達、彼女達に協力してもらい助かりました。

ラスベガスでは、時間をこじ開けてカジノを経験(日本ではパチンコも経験のないに)、撮影禁止が残念でしたが…。特に感動したのは、最後の日米障害者交流パーティーでの全盲ピアニストの演奏でした。

今回の「希望の翼」も初めは、「最初で最後」の思いで参加しましたが「次回も」という自信も出てきました。茨城新聞に良い企画だと感謝しています。

新聞社の皆さん、JTBの皆さん、ボランティアの皆さん、ありがとうございました。